

SNK

編集発行：NPO 法人シニアネット久留米
発行人：理事長 牟田慎一郎
〒830-0851 久留米市御井町 387
府中公民館内 TEL：0942-65-4545
ホームページ：http://www.snk.or.jp

81

明けましておめでとうございます！

理事長 牟田慎一郎

皆さん。明けましておめでとうございます。ご家族ともども清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナの感染が一段落し、取り扱いが5類扱いとなり、私たちの活動も活発化してきたように思います。楽しい筆書きやリメイクわくわく倶楽部などの新規講座が始まり、4月には、会員の皆さんの作品展を一番街多目的ギャラリーで開くことができ好評を得ました。5月末には、定期総会及び会員交流会を久留米シティプラザで、対面で開催することができました。かぶと虫の杜プロジェクトでは、7月に初めてのかぶと虫相撲大会を開催することもできました。また、櫛の販売を道の駅くめから始めました。久留米女性週間記念事業のくめフォーラムや子どもフェスティバル「マナビランド」、ボランティアフェスティバルなど、外部のイベントに出展し、シニアネット久留米の存在をアピールしました。

さらに、新規事業として、総務省のデジタル活用支援推

新年事務局便り

事務局長 金子忠次

皆さん、明けましておめでとうございます。コロナ禍も漸く終息の兆しが濃厚になって、久しぶりに平常心で新年を迎えることができました。皆さんもよいお年を迎えられたことと思います。私達のSNKもここで気分を一新して新たな飛躍の年にするため頑張りたいですね。事務局もその飛躍を支える縁の下の力持ちとして本年も皆さんのお世話役を確りと務めて行く所存です。

事務局には昨年メンバーとして三石さんが新たに加わりましたので月曜から金曜までの担当が少し変わりました。月曜から順に、月曜日(橋口さん)火曜日(丸山さん)水曜日(太田さん)木曜(三石さん)金曜日(馬場さん)となっています。どうぞ宜しくお願い致します。

事務局では野菜や味噌、オリーブオイル、ロースハムなどを適宜販売しています。最近では神棚にあげる櫛も特別価格(100円)で販売しています。ハムなどはメールでご案内しますので是非ご利用ください。味噌、オリーブオイルは在庫がある場合もありますので、ご希望があれば事務局まで電話して下さい。

事務局の部屋の半分は談話室になっています。大きなテーブルとフワフワのソファがありますので、ちょっとした打合せ、おしゃべり、休息などに気軽にご利用いただけます。事務局メンバー一同皆さんのお出でをお待ちしています。



皆様を待っている机とソファ



進事業に応募し採択され、9月より高齢者向けのスマホ教室を開始いたしました。シニアネット久留米の財政を立て直す一助になればと思っています。

今年度も昨年度に増して、積極的に、各種イベントの企画や参加で、シニアネット久留米の存在をPRするとともに、収益事業を強化し、シニアネットの存続を図っていききたいものです。その成功のためには、会員一人一人の積極的な活動への参加が欠かせません。4月には、昨年に続き、会員の作品展を計画しています。皆さんの日頃の成果を是非出品して、お互いの励みにしましょう！5月の総会と会員交流会では、皆で、楽しい時間を過ごしましょう。外に出て、人に会うことが元気の源になります。「誘われたら行く、頼まれたらやる」をモットーに、楽しい生きがいのある人生を築きましょう。

講座運営委員会便り

講座運営委員会委員長 青木正伸

SNK 会員の皆様あけましておめでとうございます！

さて、新しい年を迎えられて今年もいろいろと自分なりにやりたい事を思いめぐらせておられることでしょう。

講座運営委員会では、会員各位のその「やりたい」思いに出来るだけお応え致します。それを「講座」「サロン」「サークル」に取り上げて、皆様方と共に進めて行きたいと思っております。

「私のエピソード」は皆さんの話題や体験を、お茶を飲みながら愉快地語り合うサロンです。色んな趣味やペットの話。今なら話せる人生の最良・最悪・危機一髪の体験、介護や大事な人の死など、色んなエピソードや愚痴を話して、聞いて、笑ってスッキリして、脳の機能を活性化。月に1回は開催したいと思っています。

新型コロナも一段落してきましたが、十分に注意しながら「シニアライフ」を楽しむ「講座」を提案して行きたいと考えておりますので、会員の皆様方からの積極的なご提案をお待ちいたしております。



島井さんありがとう！安らかにお過ごしください！SNKの歴史を絶やしません

SNK 初代理事長、島井新一郎様が昨年の10月7日86歳で逝去されました。ありし姿と偲ぶと共にSNKの歴史を振り返りたいと思います。

SNKの正式設立は平成10年(1998年)4月1日ですが、その年の2月28日読売新聞に「ネットでお年寄り結ぼう」とホームページの開設、会の設立などの記事が大きく掲載されました。

インターネットを通じたお年寄りの仲間づくりを目指すシニアネット久留米(島井新一郎会長、約20人)は、独自のホームページを作成し、公開を始めた。

「老け込むのはまだ早い。仲間を増やし、豊かなシニア生活を過ごそう」と利用者と呼び掛けている。

インターネットを使うと、いろんな情報が素早く手に入り、仲間づくりの呼びかけも手軽にできる。(後省略)

その後、SNKはインターネット時代の時流に乗り、大きく拡大、新聞やテレビで何度も報道され、全国的にも知られることとなり、日本各地の自治体や団体の視察があり、広く交流しました。正に時代の寵児でした。

その後、地域に根差した活動に転換し、久留米、筑後の歴史・観光、教育、福祉、環境・農業などで仲間作りを行い、「奉仕されるより奉仕しよう」を合言葉に「シニアライフに彩りを！」の活動で、多くの会員に色んな体験と感動を与えてくれました。

島井さんは挨拶の場で「青春とは人生のある時期でなく、心の持ち方を言う」と言っておられました。サミュエル・ウルマンの「青春」と言う詩の冒頭の文です。長い詩ですが、筆が心に残る部分を紹介します。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老いる
人は自信と共に若く 恐怖と共に老いる
希望がある限り若く 失望と共に老い朽ちる
大地より、神より、人より、美と喜悦、勇気と壮大そして偉力と靈感を受ける限り、人の若さは失われない。

島井さんありがとう。我々の活動を見守って下さい。



島井さんをしのぶ会での集合写真

今年も4月は「シニアネット久留米作品展」です。準備OK?

今年も「シニアネット久留米作品展」を4月23日(火)から29日(月)の7日間、久留米市一番街多目的ギャラリーで開催することで準備しています。

展示できるものであれば、日曜大工や盆栽などの作品を含め、どの様な分野の作品でもOKです。シニアネット久留米の皆様の元気、凄さ、喜び、楽しみをご家族、市民の皆さんに届けましょう！

昨年は着物のリメイク作品、絵画、写真、書、絵手紙や石ころ絵などの女性の作品が多く好評でした。あの作品は何処の教室で習えるのですか？作品の販売はしていないのですか？等の観覧者からの問い合わせが多くありました。それに答える。展示者にフォローする。展示の準備等が十分でなかったことが反省点です。

今年は「作品展準備委員会」を立ち上げ、皆様の作品の展示方法の検討、作品に対する説明や問い合わせに答える準備等を実施する体制を立ち上げます。

そして、今年も昨年以上に華やかに皆様の「シニアライ

フに彩りを」を示す作品を多数展示する予定です。今から制作しても間にあいます。展示を目標に外に出て、人に会って、作品の準備に向かって、共に頑張りましょう！

多くの作品提供をお願いします。



昨年の展示場ウインド



集盛況に終わった直後の集合写真

シニアネット久留米(SNK) 賛助企業及び協賛団体

SNKの活動に温かいご支援を頂いている企業、団体様です。会員の皆様、積極的なご利用をお願いします。

- 岩田屋フード株式会社
- 福岡安全センター株式会社
- (株)アジア福岡パートナーズ AFP 株式会社 筑邦銀行
- NPO 法人 たんがく
- 有機食品バイオジョイ
- シントミジャパン株式会社
- Just Plan(ジャストプラン)合同会社
- おみその学校(有)カネダイ
- (有)くめランチサービス
- (財)久留米観光コンベンション

男女平等社会づくり「くるめフォーラム 2023」に参加

久留米市では、一人ひとりの人権が保障され、個性を尊重する男女平等な社会を作るために「久留米女性憲章」を制定し、その制定日の10月1日から1週間を「久留米女性週間」と定め、記念事業「くるめフォーラム」を毎年開催しています。

このフォーラムの趣旨はシニアネット久留米（SNK）の男女、年齢、社会的な立場に関係なく、シニアの生活を彩り、豊かにする活動に通じるものがあると考え、えーるピア久留米会場での9月30日、10月1日の展示とバザーに参加しました。

展示は「シニアライフに彩りを！」と、日ごろの活動写真や創立からの各年の活動報告などを展示しました。更に、デジタル時代に誰一人取り残されない活動である総務省のデジタル活動支援推進事業のスマホ教室を報告しました。

バザーは「わくわく倶楽部」にリメイク作品の出店をお願いしました。初めての参加であったこと、会員の皆様への情報提供、宣伝が十分でなかったことから、SNK関係者の訪問が少なかったことが反省点です。しかし、「わくわく倶楽部」のリメイク作品は式典来場の皆さんには大好評で土曜日中に商品の大半が売れてしまいました。

衣類のバザーに子どもが関心を持つことはありません。所が、小学4年生位の男の子が小枝に飾った「端布で作ったフクロウ」を気に入って、お小遣いで買ってくれました。翌日はお父さんと来てくれて、机に飾っていますと報告に来てくれました。大感動でした。



SNKの展示ブース及びスマホ教室ポスター

多数の来客者に対応する「わくわく倶楽部」の皆様。作品の良さに感動して、来年の作品を予約したお客さんがいました。



小枝に飾った可愛い「フクロウ」達



わくわく倶楽部バザーブース

子どもフェスティバル「マナビィランド」に参加

「行く 見る 遊ぶ やってみる！」11月12日、えーるピア久留米生涯学習センターが開催した、子どもフェスティバル「マナビィランド」にかぶと虫の杜プロジェクトの面々が参加しました。

大のシニアが童心に帰り、子ども達とヤジロベいやコマを作って、遊ぶ。紙飛行機を作り飛ばして「どうだ！凄いだろ！」と。7月に実施したかぶと虫の相撲大会の動画を壁に大写し「このイモムシがあのかぶと虫になるよ」と見せて、子ども達に触らせる。入口エントランス大ホールの吹き抜け3階から「ふわふわ」と紙飛行機を飛ばし喜んでいたシニアの不屈きの者。

今、学校の先生は忙しく学校で学童と交流することは中々難しい。子ども達や親が集まる場所、催しに我々が向かい、シニアの皆様が子どもの頃に体験した遊びや学びを披露し、我々も楽しみ、癒されることを目指しています。

来年は子ども達の作品、かぶと虫や昆虫の絵などを展示表彰し、記念品を渡す。また、皆様が色々な遊び道具を持って参加することを予定しています。

多数の皆様が参加し、現役の親と子ども達が遊ぶ遊び、学びの場になればと期待しています。



ヤジロベいやコマ 理科系女子です。



どんぐりの馬



お父さんが作ったコマ。良く回る、凄い！



初めて見るかぶと虫の幼虫。触れることが出来るか？

デジタル時代、誰一人取り残さないSNKの取り組み報告

SNKは1998年に今からはパソコン、インターネット時代だ！「高齢者こそインターネットを！」とスタートし、今日まで久留米地域のシニアのパソコン、インターネット利用、活用のリーダーとして先導してきました。

4年前の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発布は日常生活に必要なこと以外、自由に外出し、対面で人と交流することを禁止するものでした。この時、デジタル通信機器を持ち、インターネットやSNSで適切な相談や手続きが出来る人と出来ない人では有益な情報の量の格差だけではなく、安心安全な生活、お金の受取、ワクチン接種の予約、楽しみ、学びまで影響を受けました。

そこで、政府はデジタル社会では「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を掲げ、これにより「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を進めることにしました。

社会全体のデジタル化が進められる中、高齢者をはじめとした誰もがデジタル機器・サービスを活用することで、多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる共生社会を実現することが重要としています。

其処で、総務省は令和3年度から、高齢者等が身近な場所で身近な人からデジタル活用について学べる講習会等を推進する「デジタル活用支援推進事業」を開始しています。本事業を通じて、日本全国で地域の講師が高齢者等に寄り添い、助言や相談を行うことで、受講者の皆様のデジタル活用に関する不安を解消するものとしています。



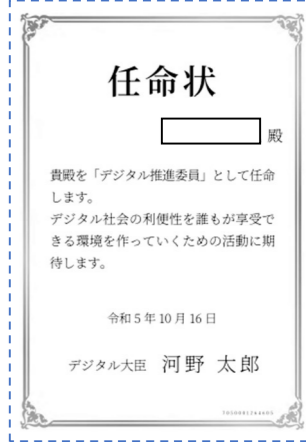
講習会の風景



これは正にSNKが26年前からやって来たことが、スマホに代わり「デジタル活用支援推進事業」になっただけだと判断して補助金申請を行いました。7月末に申請が通り、8月には会員の牟田慎一郎、金子忠次、青木正伸、井上健、三石勝也、丸山まつみ、香月俊幸、高鍋立子さん8人が講師としてインターネットでe-ラーニングで学び、集合研修を終了しました。研修の終了が遅れた、調整が付きなかった高鍋さんを覗き、7人が講師やアシスタントになり、9月からスマホ教室をスタートして2月24日まで52コマのスマホ教室を開催しています。

講師の皆さんはデジタル大臣河野太郎からデジタル推進委員に任命され、デジタル社会の利便性を誰もが享受できる環境を作っていくための活動が期待されています。来年は更に仲間を増やし、久留米地域に留まらず、色々な所で活動をすることを目指しています。

社会はシニア皆様の力を必要としています。



かぶと虫の杜プロジェクトは皆様の参加と後押しを待っています！

かぶと虫の杜プロジェクトは皆様と楽しむために、今年も色々なことに取り組みます。それで「冷やかしに行く」「見て、遊んでみる」「体調、都合の良い時だけ」の参加でもOK。楽しければそれで良いではありませんか。

高良山「かぶと虫の杜」竹林に沢山の榎の木が植わっています。その榎をSNKの本部で一束100円で売っています。これに味を占め、「道の駅くるめ」にシニアネット久留米の名前で榎の販売を開始しました。当面は名義料のみをSNKに納入し、かぶと虫の杜プロジェクトの色々な活動費に使います。実績が出来、信頼が得られ、軌動に乗れば、SNKの色々な活動費用にも回すことが可能になると思っています。皆様の温かい見守りと協力をお願いします。

下記が今年の活動計画です。

- ・ 2月～3月：かぶと虫の幼虫の数を確認します。
- ・ 4月初旬：学校にかぶと虫の幼虫配布とかぶと虫教室の連絡を取ります。
- ・ 4月下旬から5月の初旬：かぶと虫の幼虫配布とかぶと虫教室を実施します。各学校に4～5人の協力が必要です。
- ・ 7月夏休み：かぶと虫の相撲大会です。審判や応援が必要です。
- ・ 11月第2日曜日：子どもフェスティバルマナビィランドです。

皆様の参加をお願いします。



道の駅で榎の販売



かぶと虫の幼虫配布風景



かぶと虫相撲大会「御井場所」

